

## 理事会議事録

社団法人 日本グラススキー協会

- 1 会議の種類 第 19 回理事会
- 2 召集年月日 平成 21 年 3 月 17 日
- 3 開催日時 平成 21 年 5 月 15 日(金)午後 13:00～14:00
- 4 開催場所 株式会社アルピオン 本社分室 C 会議室
- 5 理事総数 17 名 出席理事数 17 名 (定足数 11 名 会議成立)  
内訳 本人出席 6 名 竹鶴 威、小林英夫、三島木和晴、飛鳥井匠哉、藤田洋一、  
高橋 浩之  
委任状出席 11 名 出席監事 井田 敏夫、塚田耕一

### 6 議長専任

定刻に至り司会者が開会を宣し、本日の理事会は定数を満たしたので有効に成立した旨を告げ、定款により議長として会長竹鶴 威を満場一致で選任し、議長より挨拶の後、議案の審議に入った。

### 7 会議の概要

#### (1) 議事録署名人人選任の件

議長は本会の議事録署名人の選任を議場に諮ったところ満場一致をもって次の者を選任した。 議事録署名人 飛鳥井匠哉 藤田 洋一

#### 2) 議事の審議状況及び議案別議決結果

##### 第 1 号議案 平成 20 年度事業報告及び収支決算報告の件

議長の指名により藤田常務理事より同案について説明があった。

グラススキーの更なる普及を目指したステップアップ(体験会、講習会、技術検定会他)普及事業、グラススキーヤーの育成、強化事業として国内大会として A 級大会(全日本選手権・高円宮杯)、B 級大会公認、都留市ジャパンジュニア、テクニカル選手権のほかの開催、国際大会としてジュニア世界選手権選(スイス)・チルドレンキャンプ(スロバキア)への代表選手派遣、国際会議への役員派遣他各事業についての説明及び各事業に関する決算報告についての説明をおこなった。

引続き監事井田 敏夫から平成 20 年度決算(平成 20 年 4 月 1 日から平成 21 年 3 月 31 日まで)に関する監査報告があった。

議案内容に関連しての審議があり審議の結果、満場一致をもって承認した。

第2号議案 第18回社員総会承認の平成21年度事業計画及び収支予算変更の件

議長の指名により藤田常務理事から同案について説明があった。

補助金・助成金申請の結果を受けての事業費見直し並びに役員報酬(使用人兼務)の事業費、管理費配分に関する説明の後、議案内容に関連しての審議があり審議の結果、満場一致をもって承認した。

第3号議案 任期満了に伴う役員改選の件

議長は理事竹鶴 威、小林 英夫、三島木 和晴、奥園 和幸、盛田 英夫、有泉勝利、佐々木 峻、藤田 洋一、吉永 博人、池上 三紀、飛鳥井 匠哉、根岸 一之、豊野 智広、江口 文之、高橋 浩之、斉藤 英樹、今村 昭二、監事 井田 敏夫、塚田 耕一が平成21年5月24日任期満了により退任するので、その改選について一同に諮ったところ、満場一致をもって次の者を理事就任予定者として承認した。

理事 小林 英夫	理事 盛田 英夫
理事 重光 昭夫	理事 池上 三紀
理事 三島木 和晴	理事 藤田 洋一
理事 飛鳥井 匠哉	理事 根岸 一之
理事 豊野 智広	理事 有泉 勝利
理事 吉永 博人	理事 江口 文之
理事 高橋 浩之	理事 飯塚 俊直
理事 芦田 直哉	
監事 井田 敏夫	監事 塚田 耕一

なお、被選任者は、その就任を承諾した。

(藤田)新任者3名(重光 昭夫、飯塚 俊直、芦田 直哉)の経歴、その資格について説明

(小林)新任者の経歴補足説明

第4号議案 公益認定申請、その他に関する件

公益認定申請に伴う「定款変更案」について

議長の指名により藤田常務理事から同案に関する内容説明があった。

「公益社団法人モデル定款」をベースにしたものであり、変更箇所は全体に及ぶこと。主な変更点は、所在地の変更(千葉県松戸市から東京都港区)、目的事業の統括、理事の定数を3名以上10名以内、監事の定数を2名以上3名以内としたこと等である。新定款の施行は、公益認定による移行登記完了の日となる等である。

審議の結果、満場一致をもって同案を承認した。

公益認定移行後の役員等就任予定者の選任について

議長から移行後最初の役員等就任予定者の選任、並びに選任者氏名を「定款変更案」の附則に記載する件について一同に諮ったところ審議の結果満場一致をもって次の者を選任し同案を異議なく同案を承認した。

代表理事 小林 英夫      理事 盛田 英夫  
理事 重光 昭夫          理事 三島木 和晴  
業務執行理事 藤田 洋一  
監事 井田 敏夫          監事 塚田耕一 監事 伊藤 英明  
なお、被選任者は、その就任を承諾した。

「定款変更」に伴う内部規定の改定について

議長の指名により藤田常務理事から同案についての説明があった。  
審議の結果、同原案が満場一致をもって承認された。

その他(新型インフルエンザ対応について)

議長より平成 21 年度開催予定各事業(海外遠征を含む)について協議体制の整備に対する提案があった。新型インフルエンザ対応に関して報道等情報を注視するとともに関係各所との協議体制を整備し各事業の実施を検討する事が確認された。

海外遠征及び国内行事について検討内容の確認の後、協議委員の選任がなされ被選任者は、その就任を承諾した。

JGSA緊急事項対応協議委員

小林 英夫   三島木 和晴   藤田 洋一  
根岸 一之   豊野 智広   飛鳥井 匠哉

〔海外遠征〕 JGSA協議委員会にて関係団体との連携により対応を協議

7月末 ジュニア世界選手権(チェコ)5名派遣予定

8月初旬 チルドレンキャンプ&レース(ドイツ)3名派遣予定

9月初旬 世界選手権(オーストリア)4名~6名派遣予定

\* 必要に応じて遠征の中止を検討する

\* 個人での海外遠征に関しては事前の報告を義務とし、必要に応じて遠征自粛を求める

〔国内行事〕 主催、共催、協力団体との連携により各種対応を協議する

必要に応じて遠征の中止を検討する

## 8 報告事項

FIS グラススキー委員会ミーティング(4月16～19日オーストリア)

### 2013年世界選手権の日本開催承認

\* 国内開催地最終決定後、財)全日本スキー連盟の協力を得、国際スキー連盟に開催申請

\* 2010年～2012年世界選手権開催予定

2010年ジュニア世界選手権イラン(要請)

2011年世界選手権及びジュニア世界選手権 スイス(決定)

2012年ジュニア世界選手権 ドイツ(要請)

以上をもって議案の審議が終了したので、副会長の挨拶の後、議長が閉会を宣し解散した。

この議事録が正確であることを証する為、議長並びに議事録署名人はこれに署名捺印する。

平成21年5月15日

社団法人 日本グラススキー協会

第19回理事会

議 長 竹 鶴 威 印

議事録署名人 飛鳥井 匠哉 印

議事録署名人 藤田 洋一 印